

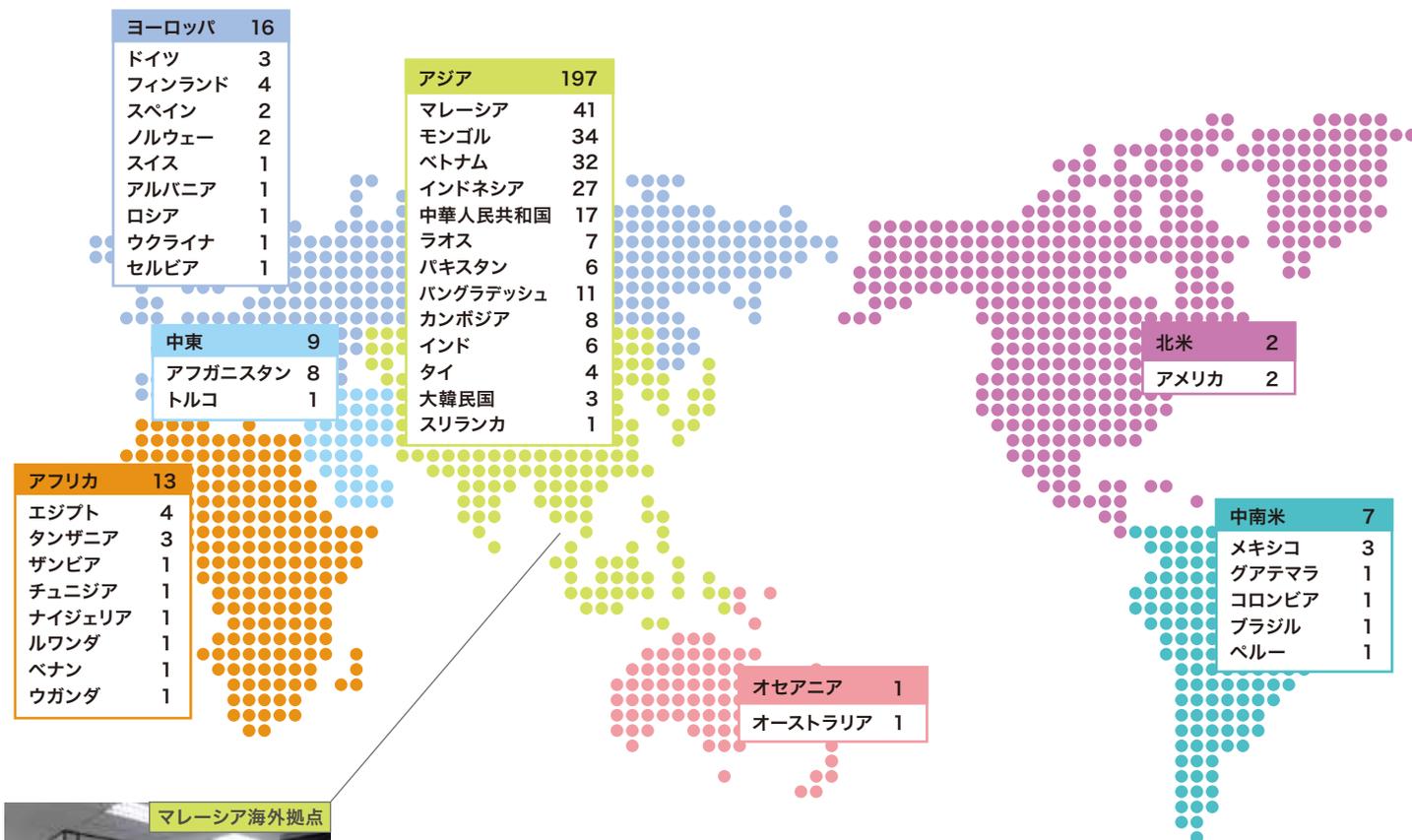
「世界に開かれた大学」として 新たな多文化共生・グローバルキャンパスを創造

活発な国際交流

「世界トップクラスの工科大」を目指す本学は、「世界に開かれた大学」として、日本人学生の海外派遣、外国人留学生の受入れ、国際共同研究を通じた教職員の交流等を推進し、グローバル人材の育成を行っています。また、留学生と日本人学生が共に暮らすシェアハウス型の学生宿舎をはじめとして、多文化共生・グローバルキャンパスに向けた取組を進めています。第4期中期目標期間においては、将来ビジョン及び国際戦略2022の下、海外の外国人講師によるオンライン授業の取組や単位取得型の交換留学を含めた段階的な留学プログラムの提供を行うとともに、多様な国から来学している留学生と共に成長できるキャンパスを創造し、将来グローバルな舞台で活躍する日本型エンジニアの育成を進めています。



外国人留学生数 (39か国から245名)



■ 外国人留学生数 (2023年5月時点)

学部: 101人 博士前期: 89人 博士後期: 39人 非正規生: 16人 全学生に占める留学生の割合: 約12%

スーパーグローバル大学創成支援事業による取組

2014年から10年間、文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業「グローバル化牽引型」に採択され、『『グローバル技術科学アーキテクト』養成キャンパスの創成』をテーマに取り組んでいます。英語教材により日本語と英語を併用する英日バイリンガル講義、留学生とのシェアハウス型学生宿舎（TUTグローバルハウス）における取組、マレーシア海外拠点を活用した海外実務訓練等を特色とし、グローバルコミュニケーション能力、多様な価値観が存在する環境での課題解決能力、世界に通用する人間力等の養成を行っています。



学生の海外派遣・留学意欲向上の取組

世界を支えるグローバル人材の育成を目指して、学生の海外派遣や留学意欲の向上のため、様々なプログラムを用意しています。世界中の協定校へ留学し単位取得ができる交換留学、学部4年次必修科目である実務訓練の一環である海外実務訓練、本学と海外の大学の2つの大学院で学び2つの修士や博士の学位取得を目指すダブルディグリープログラム、大学独自の海外研修支援制度「羽ばたけ！TUT」、更に授業の一コマだけ留学体験できるオンライン授業を行う国際連携授業（2022-2023年度試行、2024年度から本格実施）等により、学生の海外留学を支援しています。



マレーシア海外拠点を活用したグローバル人材育成の取組

マレーシア海外拠点は、多くの日系企業が進出しているマレーシア・ペナン島に2013年12月に設置され、2023年1月に大学間交流協定校であるマレーシア科学大学（USM）内に移転しました。2019年までに、両大学の成績優秀者を対象とした短期交流プログラムには本学108名、USM107名が参加し、博士課程リーディングプログラムのグローバルサマースクールには本学46名、USM45名が参加しました。また、海外実務訓練には2022年までに本学学生166名が、高専生のペナン研修には2023年までに高専生87名が参加しました。さらに、2019年までに各専門分野で開催された6つの国際会議（IGNITE）には、合計1,039名が参加しました。USMへの拠点移転に伴い、国際共同研究に基づく学生・教員交流の更なる充実・強化に取り組んでいきます。

